

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	卵巣がん患者血清における腫瘍マーカーの解析
	研究目的	卵巣がんは効果的な診断法、治療法の開発が未だ充分ではない、女性のがんです。この研究は、手術で切除された卵巣がんの病理標本と手術前に採血して保管してある血清を使って、卵巣がん細胞が作って血液中に流れているタンパク質を見つけて、診断に役立つマーカーを確立することを目的としています。特にこの研究では、卵巣がんの中でも、明細胞腺癌という、アジア人に多く、抗がん剤に抵抗性を示す癌の血液診断に使えるマーカーの開発に着目しています。
	研究対象者	2005年～研究期間終了までの間に、卵巣がんの切除手術を受け、包括同意を得た方
	研究期間	西暦 2019年 3月 6日 ~ 西暦 2020年 1月 31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	婦人科、病理診断科、臨床研究所
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	東ソー株式会社 バイサイエンス事業部第一開発部 大竹則久